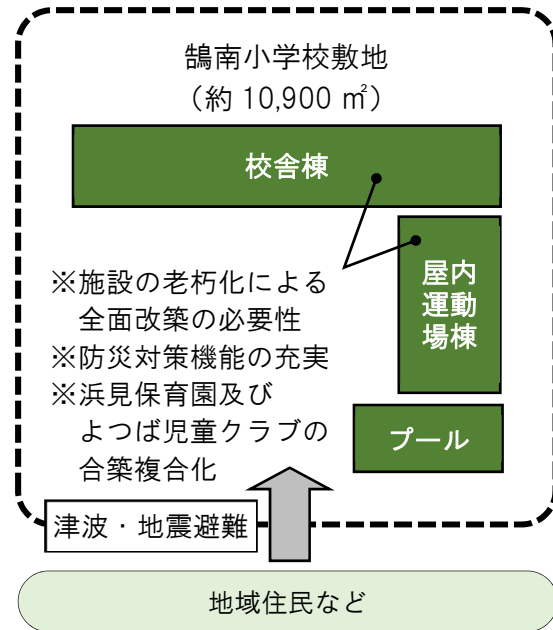


1 鵜南小学校等再整備事業について

・鵜南小学校等再整備事業は、「藤沢市立学校施設再整備基本方針」並びに「同第1期実施計画」に基づき、施設の老朽化に伴う「鵜南小学校」の改築にあわせ、津波避難対策に課題がある「浜見保育園」及び「よつば児童クラブ」の合築・複合化による、一体的な整備を行うものです。



2 これまでの取り組み状況

・今年度は、学校や保育園、児童クラブの保護者や職員、地域住民のみなさまのご意見をいただきながら、基本構想（再整備のコンセプトや施設配置など）を検討してまいりました。

- ◆鵜南小学校、浜見保育園保護者への説明、意見交換
 - ・検討状況の説明と意見交換を継続的に行いました。また、10月29日（日）に中間説明会、1月28日（日）に説明会を開催しました。
- ◆鵜南小学校、浜見保育園職員への説明、意見交換
 - ・月に1回程度検討会を開催し、随時意見等を反映させながら、継続的な検討を行ってきました。
- ◆地域住民への説明、意見交換
 - ・鵜沼地区郷土づくり推進会議、町内会自治会連合会、隣接住民のみなさまに、検討状況の情報提供と意見交換を行うとともに、検討状況をお知らせする回覧を実施しました。また、保護者との合同説明会を開催しました。
- ◆市議会への報告
 - ・平成29年9月、12月に検討状況を市議会（子ども文教常任委員会）に中間報告し、平成30年2月に結果報告いたします。

3 再整備の基本コンセプト

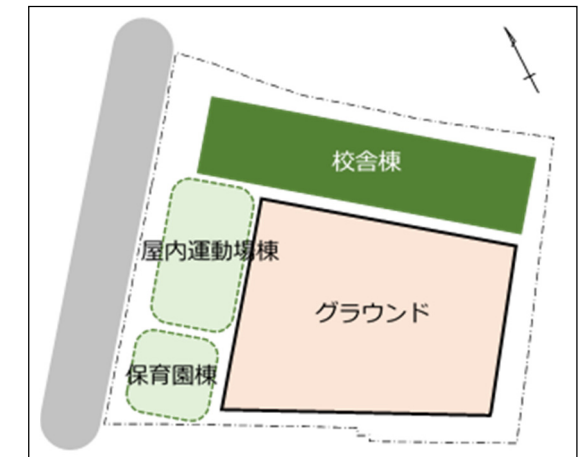
・施設が抱える現状の課題や環境条件等を踏まえ、再整備の基本コンセプトを次のように設定しています。

- ① 子どもたちの安全・安心が保たれた施設とする
- ② 津波発生時の避難場所として安全・確実に避難できる施設とする
- ③ 子どもたちが健康で快適に過ごすことのできる施設とする
- ④ 保小連携や地域連携が行いやすい施設とする
- ⑤ 周辺住宅等の居住環境に配慮した施設とする
- ⑥ 長期にわたり機能性を確保できる長寿命な施設とする
- ⑦ 整備コストの低減や工期の縮減にも配慮した施設とする

4 配置計画

・校舎棟の基本的な配置パターンを比較検討した結果、適切な学習環境や快適な学校生活環境が確保できること、周辺住宅への影響が少ないこと、3つの機能（小学校・保育園・児童クラブ）の動線区分が明確にしやすいこと等の観点から、校舎棟を敷地の北側（現在位置）に、屋内運動場棟を敷地の西側に配置する案を基本構想における配置計画（案）としました。

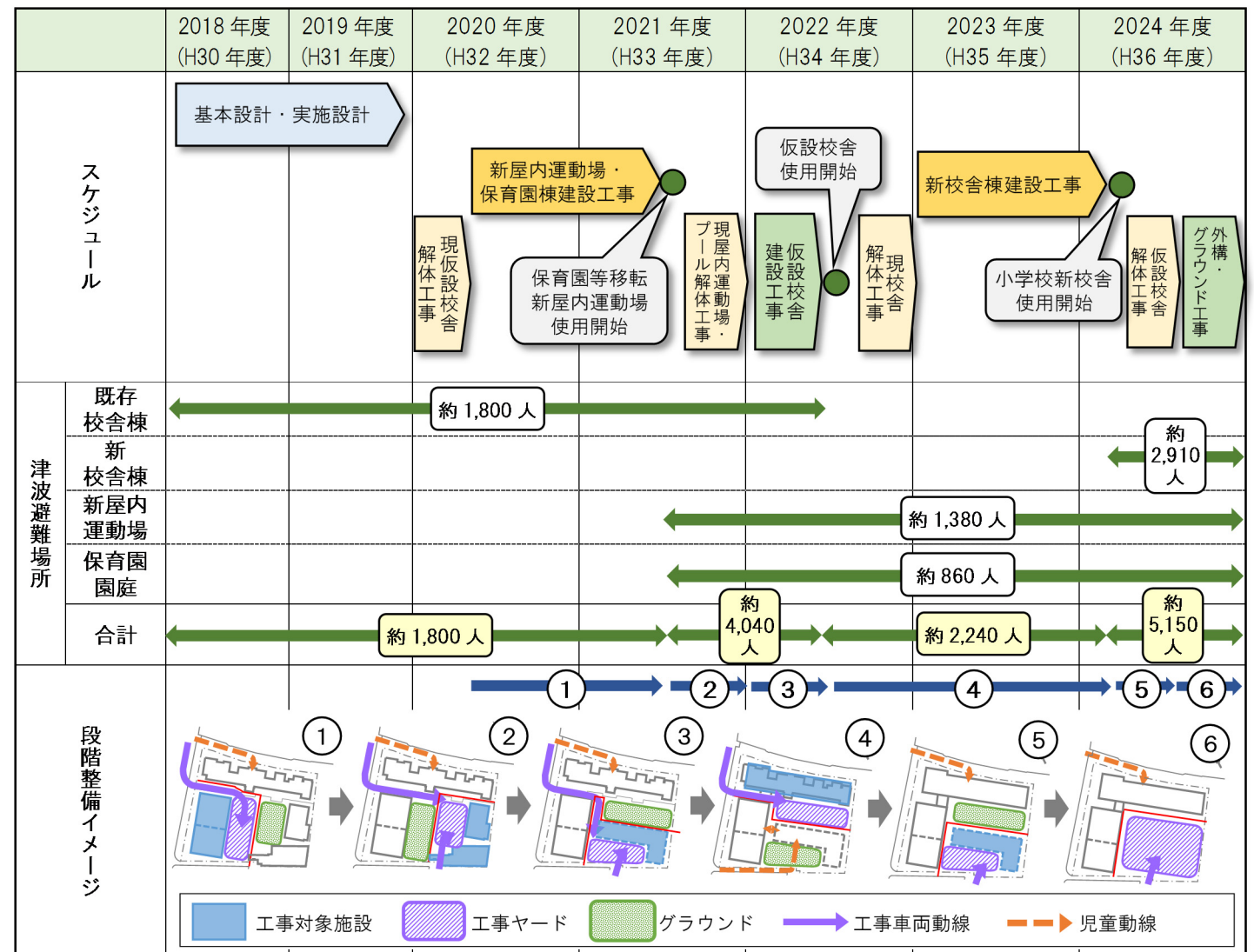
《配置計画（案）》



5 事業のスケジュールと工事エリア

・先の配置計画（案）に基づく事業スケジュールとしては、一時的に仮設校舎を建てて現校舎棟を解体し、新たな校舎棟を建てる必要があることから、新屋内運動場・保育園の完成が2021年度、小学校の新校舎の完成が2024年度となり、事業完了は2024年度末となる見込みです。

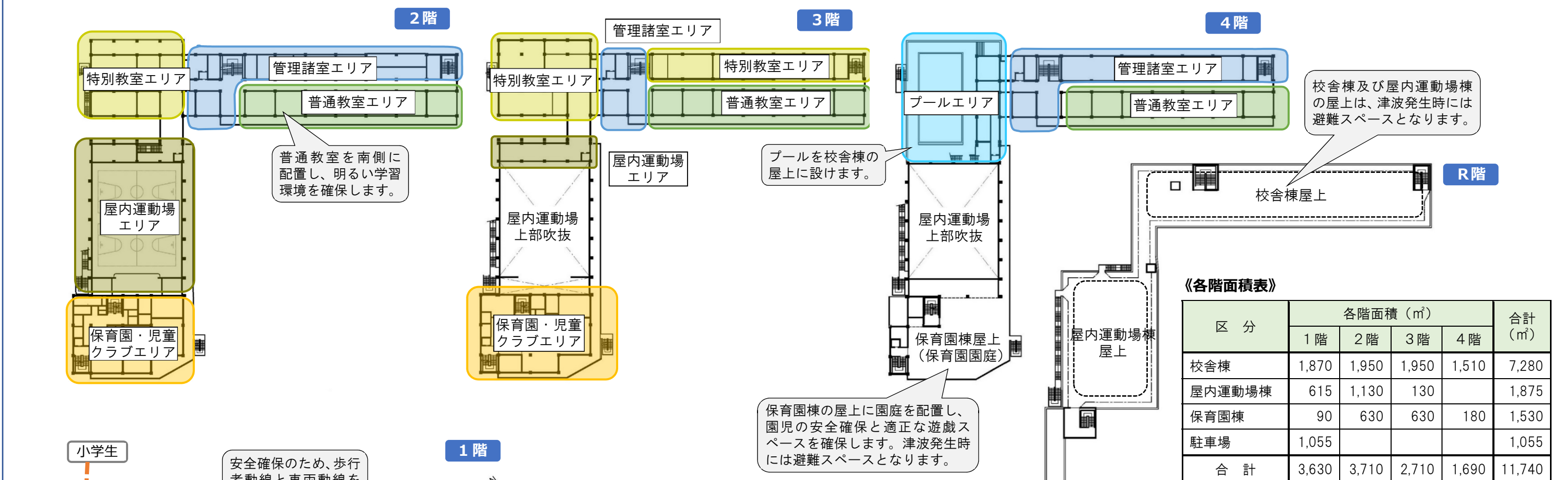
《配置計画（案）における事業スケジュールと工事エリア》



6 平面計画（案）

・先の配置計画（案）に基づく平面計画（案）を検討しています。なお、諸室の配置など、詳細のプランについては、来年度以降に実施予定の設計業務において、関係者と協議・検討の上、決定していきます。

【問い合わせ先】
 藤沢市教育委員会教育部学校施設課／TEL：0466(25)1111 内線 5121
 （保育園・児童クラブに関することは）
 藤沢市役所子ども青少年部子育て企画課／TEL：0466(25)1111 内線 3814



《各階面積表》

| 区分 | 各階面積 (㎡) | | | | 合計 (㎡) |
|--------|----------|-------|-------|-------|--------|
| | 1階 | 2階 | 3階 | 4階 | |
| 校舎棟 | 1,870 | 1,950 | 1,950 | 1,510 | 7,280 |
| 屋内運動場棟 | 615 | 1,130 | 130 | | 1,875 |
| 保育園棟 | 90 | 630 | 630 | 180 | 1,530 |
| 駐車場 | 1,055 | | | | 1,055 |
| 合計 | 3,630 | 3,710 | 2,710 | 1,690 | 11,740 |

7 津波時の避難

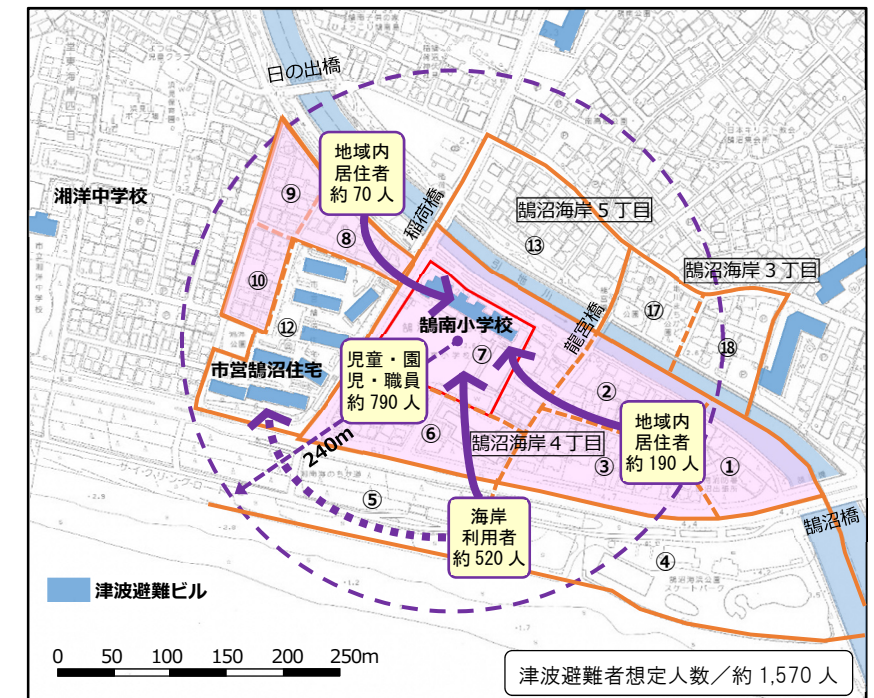
- ・本市への最大クラスの津波の第1波は地震発生後6分とされており、鵜南小学校への避難可能エリアは、相模湾と引地川に挟まれた概ね半径240mの範囲と考えられます。
- ・人口の多い昼間の津波避難者の想定人数として、児童・園児・職員約790人、地域内居住者約260人に海岸利用者約520人を加え、約1,570人の津波避難者を受け入れるスペースを3階レベル以上に確保するものとします。
- ・津波発生時は、校舎棟及び屋内運動場棟の3階以上が避難床になると考えられますが、校舎棟4階と屋上、屋内運動場棟の屋上面積に対し、0.6㎡/人で換算すると、約5,150人の避難が可能となります。

◆想定津波の概要（藤沢市地域防災計画から）

| | |
|-------|----------------------|
| 想定地震 | 相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル） |
| 震度 | 神奈川県全域で震度7 |
| 第1波到達 | 地震発生後6分 |
| 最大津波高 | 8.8m（到達時間8分）※藤沢海岸 |

※このとき、鵜南小学校付近の浸水深は3.0～4.0mとされています。

《鵜南小への津波避難者想定（昼間）》



※地域内居住者の屋間人口（児童・園児を除く）は、
 (0～6歳未満) + (65歳以上) + (18～65歳未満) × 1/3 と仮定